

ふるさと納税等を活用した 子どもの居場所づくり応援事業

健康福祉部こども未来局



子どもの居場所を巡る現状と課題

現 状

- 子どもが地域で安心して過ごすことができ、無料又は低額な料金で利用できる場所
- 当初は子ども食堂が中心だったが、現在は学習支援教室、遊びの場なども増加
- 家庭や学校以外で、地域で安心して過ごすことができる**第三の居場所**となっている



⇒社会全体で子どもを育てる拠点（居場所）を増やし、“誰一人取り残さない社会”を実現

課 題

- ・地域の方々のボランティアによる活動が多く、**運営資金の確保**に課題

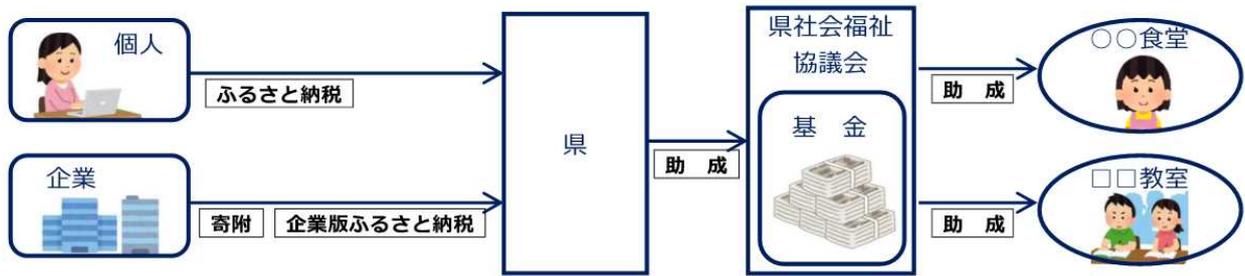
運営資金不足	物資不足	スタッフ確保	会場確保	参加者募集	その他
77 (38.3%)	28 (13.9%)	69 (34.3%)	30 (14.9%)	58 (28.9%)	28 (13.9%)

※複数回答可

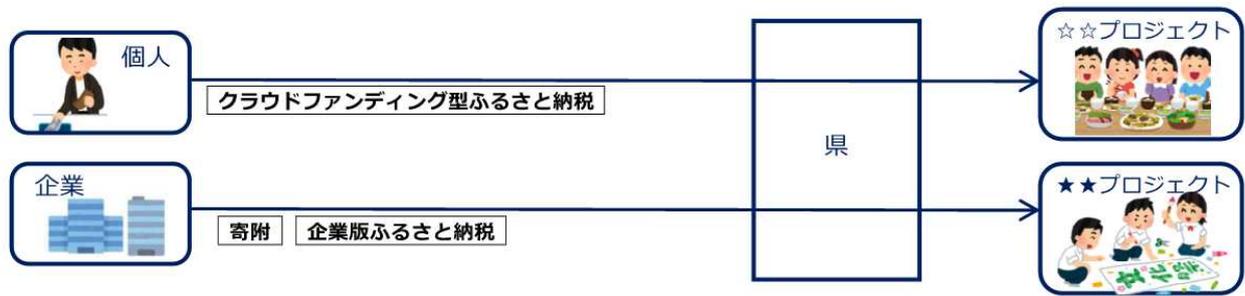
県民・企業等の協力による運営支援制度の創設

■ふるさと納税や企業からの寄附金を活用して、子どもの居場所の継続的な運営を支援する助成制度を創設

① 子どもの居場所応援基金事業



② クラウドファンディング型プロジェクト事業



① 子どもの居場所応援基金事業

■個人や企業向けに、寄附募集の広報等を行ってきた結果、これまでの寄附金合計は、743件、約16百万円

◆個人向け寄附募集

- ・ホームページによる周知
- ・スーパーやコンビニにチラシ配架

◆企業向け寄附募集

- ・寄附贈呈式の開催(マスコミ提供)
- ・商工会への働きかけ



R4.11.21寄附金目録贈呈式
(明治安田生命保険相互会社静岡支社)

◆寄附の状況 (R3.4.1~R5.8.31時点)

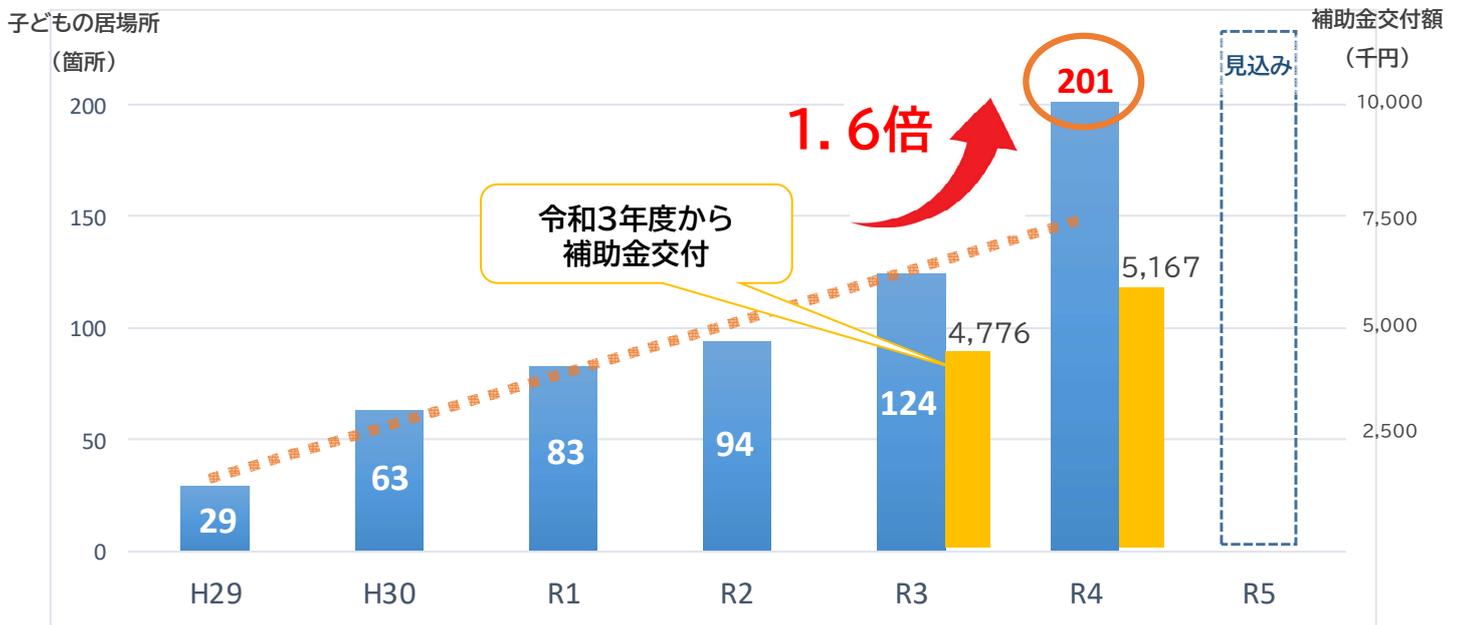
(単位:円)

年度	個人	企業	合計
令和3年度	6,522,984(444件)	2,298,500(4件)	8,821,484(448件)
令和4年度	3,588,000(239件)	2,748,406(10件)	6,336,406(249件)
令和5年度	901,000(41件)	478,000(5件)	1,379,000(46件)
合計	11,011,984(724件)	5,524,906(19件)	16,536,890(743件)

①子どもの居場所応援基金事業（成果）

■補助金交付により、子どもの居場所数は**1.6倍（前年比）**に増加

【県内の子どもの居場所数の推移】



出典：令和4年度 子どもの居場所実態調査(こども家庭課調べ)

②クラウドファンディング型プロジェクト事業

■県と各団体が連携し、プロジェクトのPRを進めてきた結果、これまで**全てのプロジェクトで目標金額を達成**

◆県の取組（広域向け広報）

- ・県公式SNS、メールマガジン
- ・ふるさと通信にチラシ同封(県外在住者)
- ・県退職者(シアサ-ビス会員)に周知 等

◆各団体の取組（地域向け広報）

- ・団体のSNS、ホームページ
- ・地域にチラシ配布、ポスター掲示
- ・地元企業訪問 等

年度	団体名	分野	目標額	達成状況
R3	NPO法人ゆめ・まち・ねっと(富士市)	遊び場	400万円	達成!
	一般社団法人ルミナス(伊豆市)	学習支援	103万円	達成!
	NPO法人森のようちえん太陽と緑の風クラブ(三島市)	遊び場	100万円	達成!
	あそびば もこ・あ・もこ(袋井市)	遊び場	100万円	達成!
R4	一般社団法人おたまちゃん食堂(三島市)	子ども食堂	200万円	達成!
	NPO法人静岡市子ども食堂ネットワーク(静岡市)	子ども食堂	250万円	達成!
	静岡大学お茶サークルー煎(静岡市)	遊び場	194万円 (当初400万円)	達成!

②クラウドファンディング型プロジェクト事業（成果）

一般社団法人おたまちゃん食堂（三島市）



子ども食堂や食料配布会を開催



寄附金200万円を基に
移動販売車を購入

新たな取組



「移動する駄菓子屋さん」を開設し、
各地域に出向いた親子支援を実施

NPO法人静岡市子ども食堂ネットワーク（静岡市）



公民館で、子ども食堂を開催



寄附金250万円を基に
拠点をリノベーション



時間や日にちに左右されない
常設の居場所拠点を整備

今後の取組

■子どもにとって、魅力のある居場所がより多く開設されるよう、
多様な居場所づくりを運営面や資金面から一層支援

◆多様な居場所づくりに向けた支援強化

運営面

不登校や多文化交流などの
居場所運営セミナーの開催

資金面

クラウドファンディング型
プロジェクトの採択枠増

